

弾道ミサイル落下時の行動について

近年、北朝鮮による弾道ミサイル発射や核実験が繰り返されています。

市民の皆さまには、いざという時の備えとして、日ごろから国や県からの情報に注意してください。

万が一、弾道ミサイルが落下した際は、市は、国や県などと一緒に対応していきますが、市民の皆さまも冷静に、以下の行動を心がけてください。

○情報の伝達（警報について）

(1) 万が一ミサイルが発射されて、国が福岡県に影響が及ぶ可能性がある判断した場合、全国瞬時警報システム（Jアラート）により、国からうきは市等へ警報が伝達されます。

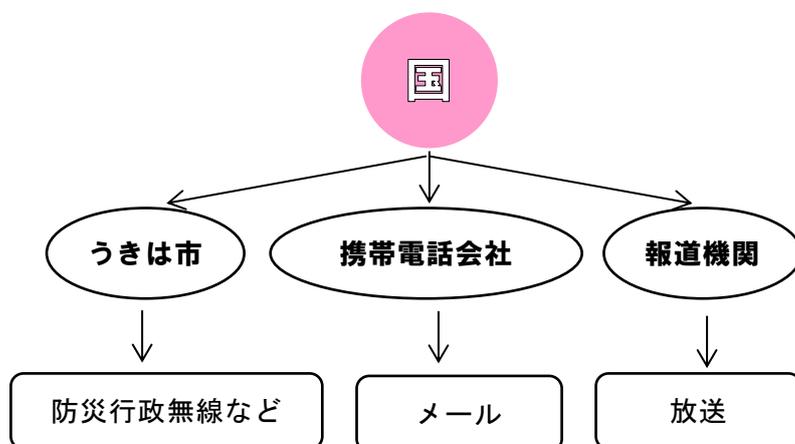
(2) 市民の皆さまには、以下の方法で警報が伝達されます。

◇Jアラートと連動した、うきは市防災行政無線の戸別受信機及び屋外拡声器を通じてサイレン音流れ、音声で警報の内容をお伝えします。

◇携帯電話に、緊急速報メール（ソフトバンク、KDDI、ワイモバイル）やエリアメール（ドコモ）として緊急情報が配信されます。

◇テレビやラジオで緊急情報が放送されます。

<<情報伝達の流れ>>



○警報を受けた場合取るべき行動

弾道ミサイルは、発射されてから極めて短時間で落下します。警報を聞いた場合は、早急に以下の行動を取ってください。

(1) 屋外にいる場合

- ・爆風や破片から身を守るために、近くの**できるだけ頑丈な建物（コンクリート製の建物等）**などに避難してください。
- ・周囲に適当な建物がない場合は、物陰に隠れるか**地面に伏せて頭部を守ってください。**
- ・自動車の運転中の場合は、ガソリンなどに引火するおそれがあるため、車を止め頑丈な建物などに避難してください。高速道路を通行しているときなど、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、緊急速報メールやラジオ放送などからの安全な情報（落下情報）が確認できるまで待機してください。



(2) 屋内にいる場合

- ・爆風でガラスが割れるおそれがあるため、**窓からなるべく離れて、床に伏せるなどして頭部を守ってください。**

ミサイルが落下した後は、情報に注意しながら、行政からの指示に従い、冷静に行動してください。

●問合せ 市民協働推進課消防防災係 Tel.75-4982